

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
臨床実践と看護理論		BNNSS7E02	30102	4前	1(30)	必修
担当教員	豊田 久美子	実務歴	有	看護師として病院/診療所に8年勤務		
概要	自己の実習経験を省察し、看護理論との照合・適合・齟齬を考察するなかで、看護理論の看護実践への活用の可能性と限界について学ぶ。 さらに、看護科学の起源・歴史・発展を概観し、専門領域および専門職としての看護における理論の重要性について考察する。					
学修目標	1)看護の起源と看護学の発展について説明できる。 2)看護理論と看護実践との関係について論じることができる。 3)実習で経験した看護実践を看護理論を用いて論じることができる。 4)看護理論の看護実践への活用と可能性と限界について論じることができる。					
DPとの対応	知をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	◎
回	学修内容	予習・復習内容				
1	看護の起源と看護学の発展	予習:シラバスを読む。 復習:看護の理論と看護学の発展について記述する。				
2	看護における理論や概念の位置づけ	予習:テキスト第1章(P1~26)を読む。 復習:看護における理論や概念の位置づけについて記述する				
3	看護理論と看護実践	予習:テキスト第2章(P27~40)を読む。 復習:看護理論と看護実践との関係について記述する。				
4	看護理論の理解①ナイチンゲール・ペプロウ・ヘンダーソン	予習:テキスト第3~5章(P41~107)を読む。 復習:3人の看護理論家の理論の特徴を記述する。				
5	看護理論の理解②オレム、キング、ロジャーズ	予習:テキスト第6~8章(P109~211)を読む。 復習:3人の看護理論家の理論の特徴を記述する。				
6	看護理論の理解③ロイ、B.ニューマン、レイニンガー	予習:テキスト第9~11章(P213~347)を読む。 復習:3人の看護理論家の理論の特徴を記述する。				
7	看護理論の理解④M.ニューマン、ワトソン、パースイ	予習:テキスト第12~14章(P349~439)を読む。 復習:3人の看護理論家の理論の特徴を記述する。				
8	看護理論の理解⑤ペンダー、ベナー	予習:テキスト第15~16章(P441~500)を読む。 復習:2人の看護理論家の理論の特徴を記述する。				
9	看護理論の理解:まとめ	予習:看護理論の理解①~⑤を復習する。 復習:看護の成立する領域について記述する。				
10	ケースレポート①「臨地実習における自分の実践で”看護”ではなかった、”看護”にならなかった」と実感した場面	予習:臨地実習における自分の実践で”看護”ではなかった、”看護”にならなかったと考える場面について想起する。 復習:ケースレポートを完成させる。				
11	グループワーク① 「その実践は、なぜ”看護”ではなかった、”看護”にならなかった?」と言えるのか	予習:なぜ看護と言えなかったのか、理論を用いて記述する。 復習:グループワークを通して看護として成立しなかったということはどういうことなのか記述する。				
12	ケースレポート②「臨地実習における自分の実践で”看護”だ」と実感した場面	予習:臨地実習における自分の実践で”看護”だと考える場面について想起する。 復習:ケースレポートを完成させる。				
13	グループワーク① 「その実践は、なぜ”看護”だ」と言えるのか	予習:なぜ看護と言えるのか、理論を用いて記述する。 復習:グループワークを通して看護として成立するとはどういうことなのか記述する。				

14	グループワーク 「看護理論を用いて実践を振り返ると何が変わったか」	予習：自分の実践を振り返ったことから、看護理論と看護実践の関係について記述する。 復習：グループワークで気づいたことについて記述する。
15	理論—研究—実践の循環関係、臨床実践への看護理論の応用	予習：理論—研究—実践の関係について記述する 復習：看護理論の看護実践への活用と可能性・限界について記述する。
使用 テキスト	南裕子他訳(2013)『看護理論集—より高度な看護実践のために』日本看護協会出版会.	
参考図書	適宜紹介する	
成績評価 基準	ケースレポート30%・レポート40%・課題30%	